



Cariotではじめる 運転業務の日報自動化

Cariot 

INDEX

1 法人車両の運転日報 p.03

- 法人車両の運転日報とは
- 運転日報を義務づける2つの法律
- 運転日報の記録が必須となる事業者の条件
- 運転日報の構成要素と運転日報に求められること

2 運転日報の具体的な書き方 p.08

- 運転日報の書き方3種類
- 運転日報の書き方3種類とその特徴

3 Cariotではじめる運転業務の日報自動化 p.10

- Cariotが得意とする領域
- 日報として使えるCariotの機能
- 具体的なCariotの機能の紹介

法人車両の運転日報

1. 法人車両の運転日報とは

運転日報はお客様からのお問い合わせが多く、テレマティクスサービスにおいても関心の高い分野です。

この章では以下を見ていきましょう。

- ・法人車両の運転日報とはなにか?
- ・運転日報を義務づける2つの法律
- ・運転日報の校正要素と運転日報に求められること

1 運転日報とは

運転日報とは、業務で自動車を運転した人が、その内容を都度記録する書類です。

日々の記録により、従業員の就業状況や、保有車両の状態などを把握できます。

主な記載項目として、運転者氏名や日時、走行距離、時間、給油量、運転前後の車両点検結果などが一般的です。

運転日報は、紙やエクセルベースの資料や、アプリやパソコンで記録するなど記録方法はさまざまです。

運転日報の導入により、企業内において定期的に記録の確認・共有・保管をすることで、勤務の改善につなげることも期待できるでしょう。

2 運転日報には決められたフォーマットがありません

実は、運転日報には決められたフォーマットがありません。

「何を書いたらよいのか?」

「どんな書式がよいのか?」

「この内容で法的要件をみたしているか?」

と、多くの問い合わせが寄せられます。

ただし、記載に必要な事項は以下の2つの法律により定められています。

○ 貨物自動車運送事業輸送安全規則

○ 道路交通法施行規則

2. 運転日報を義務づける2つの法律

運転日報を義務づける2つの法律と、運転日報の記録が必須となる事業者の条件を見ていきましょう。

1 運転日報を義務づける2つの法律

貨物自動車運送事業輸送安全規則

貨物自動車運送事業輸送安全規則は、貨物を自動車にて運送する事業者に対し、安全な輸送を確保するために国土交通省が定めている規則です。

この規則は、1990年に発令されて以降、トラックドライバーの長時間労働や飲酒運転の事故などといった社会問題を契機に、これまで多くの改正が行われてきました。

運転日報の作成は、同規則第8条より国土交通省の認可を受けた一般貨物自動車運送事業者などでトラックなどの事業用自動車を運転する乗務員に対し、乗務などの記録を行うことを義務づけています。

道路交通法施行規則

道路交通法施行規則は、道路上のさまざまな危険を防止し、円滑で安全な道路交通を図るために、警察庁が定めている規則です。

この規則により、自動車を使用する事業者に対し、交通事故を防止することを目的に安全運転管理者を選任し、事業所の近くの公安委員会に届け出を行う必要があります。

2 運転日報の記録が必須となる事業者の条件とは

この法律をふまえ、以下のどちらかの条件に該当する企業は運転日報の記録が必須となります。

<運転日報の記録が必須となる事業者の条件>

- 「一般貨物自動車運送事業」の許可を受けて事業を行う企業
- それ以外の、事業で使用する車両数が一定台数以上の企業

対象となる事業者は以下の通りです。

- 乗車定員が11人以上の自動車を1台以上保有する事業者
- 5台以上の自動車を保有する事業者

安全運転管理者の業務には、同規則にて運転日誌の備え付けと、運転終了時の記録の実施を行うことが義務付けられています。

3. 運転日報の記録が必須となる事業者の条件

以下のような、運転日報の記録が必須となる事業者について見てきました。

運転日報の記録が必要となる事業者の条件

1. 「一般貨物自動車運送事業」の許可を受けて事業を行う企業
2. それ以外の、事業で使用する車両数が一定台数以上の企業

それぞれの場合における、貨物自動車運送事業輸送安全規則(第8条)で定められた法令上必要な記載事項は以下のとおりです。

1 貨物自動車運送事業者の記載事項

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none">○ 運転者の氏名○ 乗務した事業用自動車の自動車登録番号その他の当該事業用自動車を識別できる表示○ 乗務の開始及び終了の地点及び日時並びに主な経過地点及び乗務した距離○ 運転を交替した場合にあっては、その地点及び日時○ 休憩又は睡眠をした場合にあっては、その地点及び日時 | <ul style="list-style-type: none">○ 車両総重量が8トン以上又は最大積載量が5トン以上の普通自動車である事業用自動車に○ 乗務した場合にあっては、貨物の積載状況等○ 道路交通法や自動車事故報告規則に規定する事故又は著しい運行の遅延その他の異常な状態が発生した場合にあっては、その概要及び原因○ 経路並びに主な経過地における発車及び到着の指示があった場合には、その内容 |
|---|---|

法人車両の運転日報

2 事業で使用する車両数が一定台数以上の企業の記載事項

貨物自動車運送事業以外の企業で、乗車定員が11人以上の自動車にあっては1台、
その他の自動車にあっては5台以上を使用している企業は、安全運転管理者を選任しなければなりません。

安全運転管理者は、下記の内容を記載できる日誌を備え付ける必要があります。

- 運転者名
- 運転の開始及び終了の日時
- 運転した距離
- その他自動車の運転の状況を把握するため必要な事項

運転日報は労働基準法に合わせて5年の保管期間を取ると確実

運転日報の保存期間は、貨物自動車運送事業輸送安全規則および道路交通法施行規則、ともに最低1年間とされています。

しかし、運転日報は労働者の運転時間を記載する書類になることから、前述した法律のほかに、労働基準法についても確認することが必要です。

労働基準法によると、書類の保存期間は5年間とするとなっています。

そのため、運転日報の保存期間は最長である労働基準法に合わせておくとよいでしょう。

4. 運転日報の構成要素と運転日報に求められること

運転日報の構成要素と運転日報に求められることは次の通りです。

before

運転日報には必須の記載事項はあるが、フォーマットは定められていないことをお伝えしました。

日報を構成する要素は以下となります。

法令で定められた
必須の記載事項

+

各社の業務に
合わせた記載事項



貨物自動車運送事業者の場合は、氏名・距離・休憩地点・運転交代など。

一般車両の場合は氏名・開始・終了・距離など。

報告書の要素は、訪問場所・議事・勤怠など。

業界・業種により多様。

after

この性質により、業務日報には法令の要件を満たしつつ、次のような理想が求められます。

法令で定められた
必須の記載事項

+

各社の業務に
合わせた記載事項

適切な記録を効率的に行いたい。

この内容を活用して、他の業務に活かしたい。

- 荷主・顧客への報告
- 精算・勤怠・請求
- 配車・ルート改善
- 営業の生産性向上

運転日報の具体的な書き方

運転日報3つの書き方

運転日報が必須となる事業者、フォーマットは定められていないこと、日報を構成する要素についておつたえしてきました。

ここでは、運転日報の書き方3種類とその特徴について押さえておきましょう。

- <運転日報3つの書き方>
- 紙に手書き
- Excelテンプレート
- 専用サービスやアプリ

1. 紙に手書き

タクシーの乗務記録に代表されるように、シンプルかつ、昔ながらの方法といえるでしょう。

通常の業務日報などと同様に、運転日報用の用紙というものが販売されています。特に利用頻度が多い場合、毎回手書きで書くというのはなかなか大変ではあります、ITに抵抗がある人などには最も向いているかもしれません。

ただし、汚してしまったり紛失してしまう可能性もあるので、取り扱いには注意が必要です。

1. 運転日報の書き方3種類

2. Excelのテンプレート

Excelなどのテンプレートを用いて日報を作成する方法です。運転日報に限らず業務日報や経費精算にExcelを利用している企業も多いのではないでしょうか。低コストで導入でき、関数やマクロで集計の工夫ができるのも嬉しいポイントです。

3. 専用のツールやアプリ

最近増えてきているのが専用のwebツールやアプリの活用です。

弊社のCariot（キャリオット）もそのひとつです。

このようなサービスは基本的に有料のものが多く、お金を一切かけたくないという場合には向いていません。

一方で動態管理やスケジュール管理など複数の機能がついており、日報だけではわからないことまで把握できる点が大きな特徴でしょう。最近の動態管理・車両管理サービスの特徴は、スマートフォンのGPSや専用のデバイスを用いて、車両や運転の記録を蓄積・分析できる点にあります。

運転日報の具体的な書き方

2. 運転日報の書き方3種類とその特徴

運転日報の書き方3種類とその特徴を比較すると以下のようになります。

- ・手書きはスキル不問で導入コストがゼロですが、保存や集計に課題があります。
- ・エクセルは低コストで集計の工夫もできますが、運用の徹底には工夫が必要であり、台数が多くなるほど強みである集計が大変になってきます。
- ・専用ツールには導入コストがかかりますが、運行日報の業務に求められるほとんどをカバーできるのが特徴です。

	スキル不問	保管	集計	リアルタイム性	項目の自由度	導入コスト	運用の徹底
手書き		◎	×	×	△	○	ゼロ
エクセル		△	×	△	△	○	低
専用ソフト (ツール)		○	◎	◎	○	△	高

次に弊社のツールであるCariotでできることを見ていきましょう!

Cariotではじめる運転業務の日報自動化

1. Cariotが得意とする領域

Cariotは運転業務の日報自動化において、図の黄色部分の領域をカバーする機能を提供しています。

	法令で定められた必須の記載事項	各社に業務に合わせた記載事項
貨物自動車運送事業を行っている企業	タコグラフにて取得・記録が必要な項目があり併用が必要	お客様のニーズに合わせた運用のご提案が可能
それ以外で事業で使用する車両数が一定台数以上の企業	必要な情報はCariotにて取得・記録が可能	お客様のニーズに合わせた運用のご提案が可能

2. 日報として使えるCariotの機能

日報として使えるCariotの機能一覧です。

	(1)日報・月報PDF	(2)走行データ	(3)運転報告	(4)レポート	
				車両利用報告書	走行ステータス集計
対象ユーザー	決まった形式での印刷を行いたい方向け	走行業務実績、その詳細を確認したい方向け	1日の走行業務実績、その詳細を確認したい方向け	車両単位の利用実態を一覧で確認したい方向け	待機時間や作業時間などドライバーのステータスから分析を行いたい方向け
日次単位の出力	○		○	○	○
月次単位の出力	○			○	○
印刷への最適化	○			○	○
表示項目のカスタマイズ		○		○	○
1日の切れ目の設定			○		
走行軌跡の表示		○	○		
危険運転の表示		○	○		
駐車/滞在/訪問記録の表示		○	○		
訪問記録詳細、ステータスの表示		○	○		
訪問記録詳細、ステータスの編集			○		
取得項目の追加			○	○	

3. 具体的な機能の紹介

1 日報・月報PDF

走行データを活用して運転日報・月報がかんたんにPDF作成ができ、作成や集計作業にかかる負担を削減することができます。

また走行データからレポート集計をして、エクセルデータを出力することで、自社の報告フォーマットへのデータ活用もできます。

運転日報						
年月日	2022/11/16					
所属						
ドライバー名	森田 重文					
出発時刻	到着時刻	車両名	出発地	到着地	走行距離 [km]	走行時間 [分]
03:41	15:41	練馬300に0826	〒261-0021 千葉県千葉市美浜区ひび野2丁目4	〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田2丁目 湾岸道路	0.0	720
15:41	03:41	練馬300に0826	〒261-0025 千葉県千葉市美浜区浜田2丁目 湾岸道路	〒275-0025 千葉県習志野市秋津 東関東自動車道	0.0	720

運転月報						
年月	2022/10					
所属						
ドライバー名	水谷 邦夫					
年月日	走行距離 [km]	走行時間 [分]	開始	終了	走行数	最高速度 [km/h]
2022/09/21(水)	利用なし	--	--	--	--	--
2022/09/22(木)	利用なし	--	--	--	--	--
2022/09/23(金)	利用なし	--	--	--	--	--
2022/09/24(土)	利用なし	--	--	--	--	--
2022/09/25(日)	利用なし	--	--	--	--	--
2022/09/26(月)	177.2	490	10:26	18:37	1	98.9

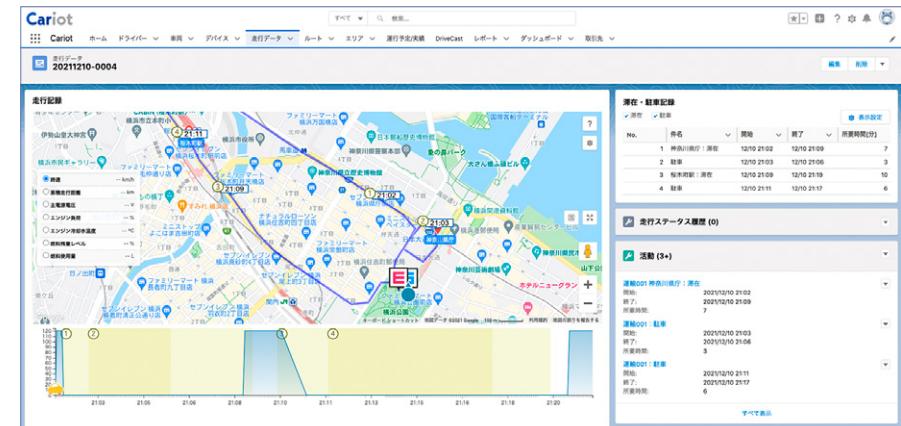
2 走行データ

走行の開始と終了までの実績データを記録・集計し、

走行ルートや走行時間・距離、滞在先など各種実績を確認することができます。

<走行データ実績項目>

- 走行ルート(軌跡)
- 走行開始時間・終了時間
- 走行開始住所・終了住所
- 走行時間・距離
- 滞在先名称
- 滞在開始時間・終了時間
- 駐車開始時間・終了時間



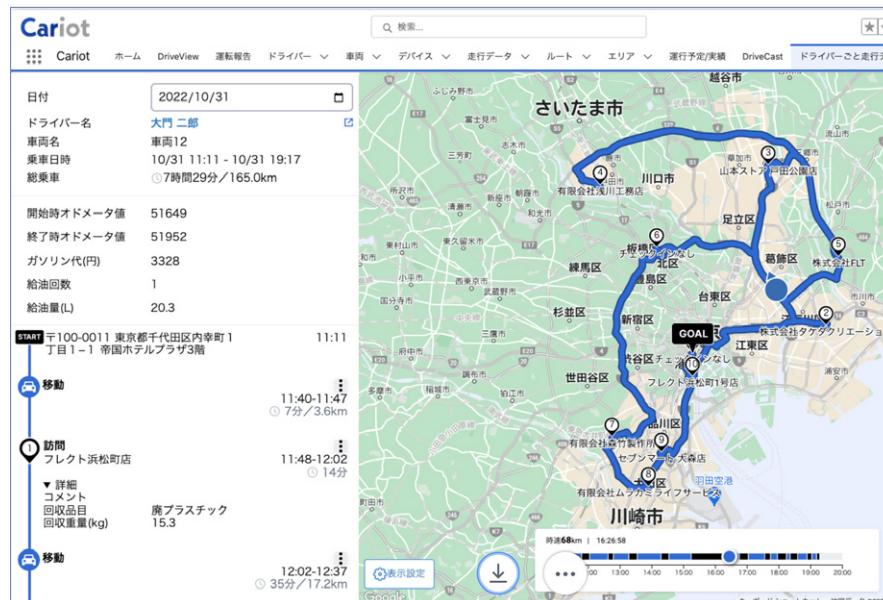
3

Cariotではじめる運転業務の日報自動化

3 運転報告

あらかじめ設定した任意のカスタム項目をドライバーがスマホアプリから入力、納品等の記録に写真保存ができます。業務活動を集計した1日の運転日報を作成することができ、従来の作成・回収・集計等の作業負荷を軽減します。

※取得項目のカスタマイズ可能



4 レポート

ノンコーディング(クリックベース)でレポート・ダッシュボードを任意に作成できます。

車両稼働率、安全運転、業務活動等の目的に適したデータ集計を行い、支店や車両・担当者ごと、また日・週・月などの時間推移で分析することができます。

※取得項目のカスタマイズ可能



おわりに

- ・運転日報は、2つの法律によって義務づけられていること
- ・具体的な日報の書き方
- ・Cariotを活用したデジタル化

以上についてご案内しましたが、いかがでしたか？
運転日報の記録データを活用し、社内で把握や共有することが、日々の業務効率化につながっていくでしょう。



Cariotではじめる
運転業務の日報自動化

お問い合わせ先

株式会社フレクト Cariot事業部

Web: <https://www.cariot.jp/>

Mail: cariot_marketing@flect.co.jp

TEL: 03-3561-9610 (平日10:00 ~ 18:00)



cariot.jp

※本資料の情報、及び画像は、作成時点のものです。詳しくは最新の情報をご確認ください。

※各社事例の情報は、ヒアリング時のものになります。また、数値評価は企業努力も含まれます。

